

**有限責任中間法人
日本臨床高気圧酸素・潜水医学会
平成 18 年度臨時理事会議事録**

日時 ; 2006 年 4 月 23 日 (日) 13:00~15:00

場所 : へるす出版 会議室

出席者 (敬称略順不同) :

理事 : 八木博司, 有賀 徹, 浅井康文, 浅利 靖, 大岩弘典, 小濱正博, 瀧 健治, 毛利元彦, 太田保世 (委任状), 鎌田 桂 (委任状), 平柳 要 (委任状)

監事 : 野口照義, 島崎修次 (委任状)

八木代表理事が出席予定者が全員集まっており, 欠席理事より委任状が提出されているので, 理事会が成立していることを告げ, 開会を宣言した。議事録書名人として大岩理事, 毛利理事を指名した。

議事 1 : 第 3 回学術総会について

資料 (学会雑誌 3 卷 1 号 ; プログラム抄録号) に基づき浅井会長より準備状況が報告された。

議事 2 : 専門医制度について

専門医制度検討委員会より提出された規則案の内容について小濱委員長が逐条ごとに説明を加え, 質疑応答の形で審議された。

(1) さらに, エステなどでの mild HBO についてユーザーが困らないよう教育啓蒙活動などを学会として検討する必要がある。一第 3 回学術大会でこの問題は、パネルディスカッションとして取り上げられる。

議事 3 : その他

日本高気圧環境医学会が医師のみで独立した組織 (法人化) を計画しており, 同学会を構成している医師以外の会員が切り離されようとしている。それらの

会員のフォローするために、医師や技師など合同の学会「高気圧酸素シンポジウム」などの開催も検討することとした（日本救急医学会、日本臨床救急医学會と救急隊員シンポジウムの関係のようなもの）。